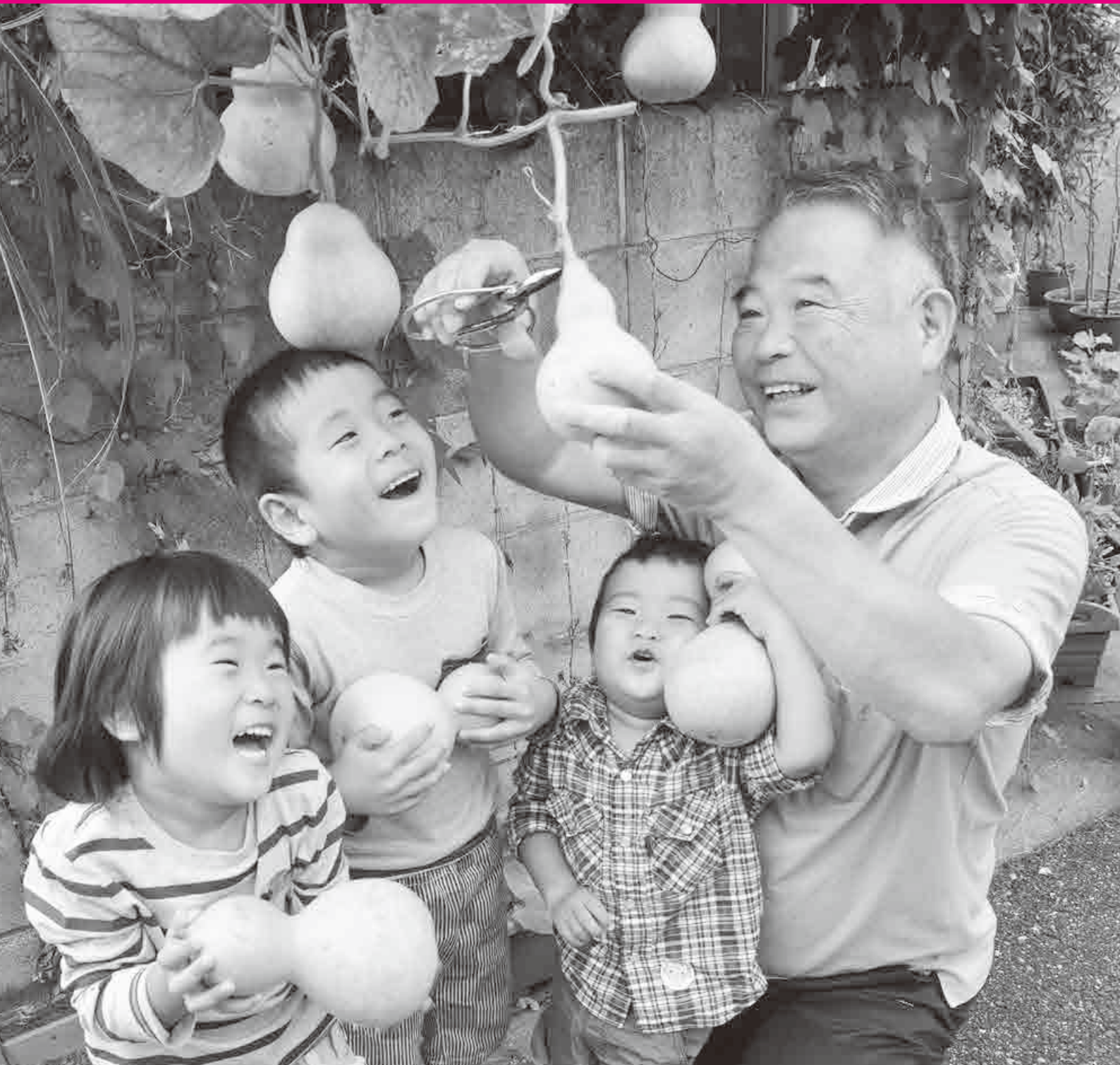


蕨10 広報WARABI

2014/平成26年
わらび・761

- 平成26年10月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 9月1日現在人口：72,331人 前月比 -13人
男 36,708人 女 35,623人
世帯数：35,985
人口密度：14,182人/km²



地域や家族との交流にも一役 健康と幸運を招くヒョウタン

やまだ ひさし

山田久さん(中央2丁目)のご自宅のみごとなグリーンカーテン。くびれのあるヒョウタンがひととき目を引きまします。この日は地域の皆さんが見守るなか、3人のお孫さんと収穫を楽しみました。縁起物といわれるヒョウタンは笑顔も呼び込んでくれたようですね。

～今月の特集～

- わらび
市政スポット

わ
WARABI

わらび

市政スポット

まちの情報を
発信します



基金で購入した大型テレビを使って、進められた理科の授業(西小学校6年生)

ふるさとわらび応援基金を活用し 学校・保育園の備品の充実へ

今月の特集・市政スポットでは、現在市が進めている事業をご紹介します。内容はふるさとわらび応援基金を活用した学校・保育園の備品の充実や、今月から変更となる予防接種事業、防犯灯LED化への取り組みの3つです。

蕨

のまちづくりの推進のためにと、ふるさと納税でいただいた寄附金を財源にしている「ふるさとわらび応援基金」。その基金から、「子どもたちのために」という寄附金1000万円を活用して、今年度、学校や保育園の備品の充実を図っています。

全小・中学校でそろえたのが、50型の大型テレビやブルーレイレコーダー・プレーヤーなどです。テレビは画面が大きく、投影機などとも連動できるため、従来よりも見やすく、理科や算数(数学)の授業で視覚を通して理解度を深めるのに役立っています。また、移動式スタンドにより気軽に使用することもでき、子どもや先生がたから好評です。中学生の部活動を応援するため、各校からの要望を基に購入したのが、ティンパニ、トランペットといった楽器や競泳用コースロープなどの備

映像でより分かりやすく

テレビと投影機を使った理科の授業を先月、初めて受けました。先生の話や友達の発表を耳で聞くだけでなく、目で見ると想像しやすく分かりやすかったです。あと、画面も大きくて見やすかったです。



ながさわ はるか
永澤 羽留香さん
西小学校6年生

品です。既に大会で使用している物もあり、部活動によりいつそう励める環境づくりへとつながっています。また、学校給食の米飯用食器を市のマスコットキャラクター「エンジェルわらぶ」の絵柄入りの物に更新したほか、各保育園の備品を購入するなど、いただいた寄附金を有効に使わせていただきました。

～基金を活用して、こうした備品をそろえました～

園児の遊具



保育園では三輪車やおさんぽ車を購入。楽しく遊べて、園児もにっこり

部活の楽器



二中吹奏楽部はティンパニを購入。「今までと音の響きが違う」と演奏者

給食の食器



経年劣化した米飯用を更新。全ての学校給食用食器が「わらぶ」入りに

水痘・高齢者用肺炎球菌の

予防接種が定期接種へ

～小児用肺炎球菌の補助的追加接種は助成へ～

今 月から小児の水痘ワクチンと、高齢者用肺炎球菌ワクチンが定期接種となるほか、小児用肺炎球菌ワクチン(13価)の追加接種者への一部助成が始まります(下表)。

5歳までに約80%がかかる水痘。接種対象は1歳から3歳未満で、全額助成のため費用は無料です。なお、経過措置で来年3月末までは3歳から5歳未満も対象となります。

また、高齢者がかかる肺炎の多くの原因菌となる肺炎球菌。その予防が期待される肺炎球菌ワクチンの接種対象は、主に65歳以上の5歳刻みで、一部費用が助成され、5000円の自己負担で接種できます(生活保護世帯・市民税非課税世帯の人は無料)。なお、より多くの人が接種できるよう、70歳以上の人を対象にした市単独の助成(3000円)は来年3月末まで継続します。申し込みは保健センターへ。



予防接種は計画的に (写真はイメージ)

昨年11月より、小児用肺炎球菌のワクチンは7価から更なる予防が期待できる13価に変更となりました。それを踏まえ、1歳から5歳未満で、昨年10月末までに既定回数の7価のみを接種し、13価の追加接種を希望する場合、市ではその一部費用を助成(4000円)します。希望者は来年3月末までに蕨戸田市内の実施医療機関で接種してください。問い合わせは保健センター(☎431・5590)

賛成です接種の助成拡大

2人の息子の子育てをしているので、予防接種のたいせつさを理解しているつもりです。こうした助成が広がるのはいいことですね。今後も市民が健康で暮らせるまちづくりを進めてほしいと思います。



ただ かおり
多田 香織さん
北町2丁目・29歳

種類	ワクチン	対 象	回数	助成額
定期接種	水痘 (水ぼうそう)	1～3歳未満 ※3～5歳未満(来年3月末まで)	2回 ※1回	全額(自己負担なし)
定期接種	高齢者用肺炎球菌	①26年度内に65・70・75・80・85・90・95・100歳以上になる人 ②60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能または、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人	いずれも1回	3,517円(自己負担は5,000円)
任意接種	小児用肺炎球菌(13価)	1～5歳未満で、昨年10月末までに既定回数の7価ワクチンを接種した人(来年3月末まで)	1回	4,000円(差額は自己負担)

防犯灯のLED化を進め

安全安心なまちづくり

夜

間の道路を明るく照らす防犯灯。市では安全で安心なまちづくりの一環として、約3000基ある防犯灯のLED化を進めています。

LED防犯灯は、従来の蛍光管に比べ、少ない電力で明るさを保てるため、省エネ効果がある上、電気料金を約半分に抑えることもできます。また、ランプの寿命は10年程度と長くなっています。

防犯灯は市が設置し、日頃は各町会で維持管理をしていただいています。LED化を進めるに当たっても、各町会



LEDに取り替えた防犯灯(南町4丁目)

今後もLED化の推進を

町会で防犯部長をしています。明るくて、地域の人からも好評のLED防犯灯の設置を今後も積極的に進めてほしいですね。私たちも地域の皆さんや警察、行政と連携し、防犯活動を続けていきます。



すがわら かつとし
菅原 勝利さん
南町4丁目・71歳

からの要望をお聞きし、それを踏まえた調査を行い、新設や取り替えを実施しています。毎年100基以上のLED化を進め、25年度末までに設置したLED防犯灯は587基。今年度も更に約100基のLED化を進める予定です。今後も、こうした防犯設備を計画的に整備していくとともに、警察や地域の皆さんと連携し、犯罪を未然に防ぐ環境づくりに努めていきます。



レポート そこが知りたい

<102>

来春オープンに向け、南町で整備が進む 市内3か所目の特別養護老人ホーム

市では民間企業との協働により、市内3か所目となる特別養護老人ホーム（南町2丁目）の整備への取り組みを進めています。そこで今月は、同施設の整備に至るまでの経緯や概要、来年4月開設に向けた今後の予定などを紹介します。

（平成16～25年度）や3年ごとに策定する「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、さまざまな施策を展開してきました。

民間との協働により 新たな特養の整備へ

そうした施策を進めていく上で課題だったのが、特別養護老人ホーム（以下特養）の増設でした。現在市内には、2つの特養（計114床）があります

**高齢化で求められる
介護サービスの充実**
高齢化が進み、国民の約4人に1人が65歳以上の高齢者という状況で、蔵市でも5人に1人以上が高齢者となっています。高齢者の進展とともに介護を受ける人も増え、サービスの充実が求められるなか、市ではこれまで「第4次総合振興計画」

が、高齢者人口に対する整備率が近隣市に比べ低く、入所希望者も多い状況で、市民の皆さんから「新たな特養を」という声もありました。しかし相応な広さの市有地がなく、土地の購入には多額に費用が生じるため、その解決策を模索していました。そうしたなか、民有地の所有者に、該当用地の

5年分の固定資産税・都市計画税相当額の奨励金を交付するという誘致策を検討したところ、24年2月、南町2丁目に約2500平方メートルの土地を有するOKIグループ（以下OKI）に、地域貢献活動の一環として協力いただけることになりました。そしてOKIから、地域に根ざした介護で県内に

入居受け付け開始は
11月で来月中旬から

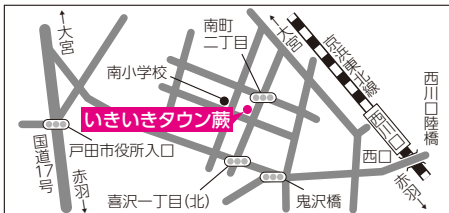
施設（仮称・いきいきタウン蔵）は広域型で、特別養護老人ホーム90床、ショートステイ10床、定員

～仮称・いきいきタウン蔵の概要～

ところ＝南町2-32-20 施設内容＝特別養護老人ホーム90床（個室ユニット型）・ショートステイ10床（個室ユニット型）・デイサービス30人・地域交流スペース（カフェ・展示コーナー） 鉄筋コンクリート造り地下1階、地上3階



外観イメージ



～入居の申し込みについて～

11月中旬から、社会福祉法人ぱるで入居の申し込み受け付けを開始します。詳しくは、いきいきタウンとだ（戸田市喜沢南2-5-23 ☎432・1500）にお問い合わせください。

URL＝<http://www.shafuku-pal.or.jp>

30人のデイサービスのほか、地域の人が集える交流スペースも設けられる予定です。入居申し込みは、運営主体のぱるが来月中旬から受け付けを開始し、その後、説明会を経て準備を進めていきます。

市では今年度からスタートした「コンパクトシティ蔵」将来ビジョンで「だれもが自分らしくいきいきと暮らせる環境づくり」を重点プロジェクトで掲げています。今後課題や市民の皆さんの声を踏まえ、更なる介護サービスの充実を図り、高齢者の皆さんが健康で安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課（☎433・7703）へ。

（見に来ませんか）

▼蔵ギターアンサンブル第9回定期演奏会 11月2日 午後3時 文化ホールくるる 無料 直接会場へ（佐藤・☎442・3571）

▼（仲間になりませんか）認知症予防とストレッチ体操 月・水・金曜日（男女混合）午前6時15分 火・木曜日（男性のみ）午前7時 城址公園八平田・☎090・3131・9399

▼下蔵団基クラブ 火曜日 午後6時半 下蔵公民館 月2000円（八巻・☎090・3505・8267）

▼こども造形教室（工作）木曜日 1回800円 3歳～小学生2年生 時間と会場は電話で要確認（大矢・☎090・952・7658）

▼蔵北町サッカースポーツ少年団 土・日曜日・祝日 北小学校 月1500円 2000円（未就学児は年間1000円）年中・小学生（小泉・☎090・4948・5936）

▼わらびシニアパソコンクラブ 25期生募集 第2・4木曜日 午後1時半 中央東小学校隣・旧加藤文具2階 月2000円 パソコン持参（額賀・☎432・5217）



アベジャフル
モハメド マルフさん

バングラデシュ
塚越3丁目・35歳

この まちに 暮らして

ま・ち・の・話・題

バングラデシュの南部・チャンドプール出身のマルフさん。留学を機に18歳で来日し、蔵には5年前に越してきました。現在は同郷の妻と息子2人の4人家族で、「小さなまちだけど、近所の人の顔も見えて子育ても安心」と、コミュニティが豊かな

な蔵が大好きだそうです。そんなマルフさんの職業は日本食の料理人。都内の料亭では、料理長として厨房に立ち、お客さんの舌をうならせています。「でも、息子は妻の手づくりカレーがいちばん好きみたい」と苦笑い。母の味は万国共通のようです。

この数な～に 5,000万円

万一、自転車で事故を起こした場合、多額の賠償責任を負うおそれがあります。そうした事態への備えの一つとして推奨しているのが日本交通管理技術協会のTSマークです。これは、自転車安全整備士が点検整備した自転車に貼付されるもので、傷害保険と賠償責任保険が付帯されます。今月1日以降に貼られる赤色TSマークは、賠償責任補償の限度額が5,000万円に引き上げられるなど補償が拡充されました。万一に備え、自転車安全整備店の看板のあるお店にぜひご相談ください。

日頃の生涯学習の成果を発表する「生涯学習フェスティバル」が市内7公民館で開かれています。下蔵地区では9月5日から7日まで下蔵公民館を主会場に開催。講演会や作品展示のほか、音楽系団体の発表などが行われ、訪れた2051人は学びと交流を深めていました。

4年生以上の小学生が公民館で共同生活をしながら通学する合宿通学が、今年も市内5地区で開かれました。北町地区では9月7日から13日まで行われ、児童25人は、地域の人に支えられながら炊事や洗濯などの体験を通じて、あらためて家庭のたいせつさを実感しました。

9月13日、市民会館で「お年寄りを敬う会」が開催されました。77歳以上の皆さん6292人（前年比253人増）をお招きしたところ、1525人が出席。小学生による敬老作文の朗読のほか、合奏やダンス、歌謡ショーなどが行われ、盛大にご長寿をお祝いしました。

学び深める地域の祭典



市内5地区で合宿通学



ご長寿祝う敬老会開催



収穫!!「田んぼの学校」



秋の交通安全運動実施



- ▼**揚名時(太極拳)** 土曜日 午後2時半 蔵駅東口駅前・セースビル 月4500円 八浦島・☎24・5915
- ▼**児童合唱団「野うさぎ」** 土曜日 午後4時半 南公民館 月3500円 5歳〜高校生 八近藤・☎41・5659
- ▼**合気道無為会** 月・木曜日 午後7時 市民体育館または第二中学校 月1000円 八壺内・☎41・1072
- ▼**ABCキッズ(幼児英会話)** 月3回水曜日 午前10時 中央公民館か旭町公民館 月2300円 未就園児八小沼・☎090・9645・8812
- ▼**(参加しませんが)**
- ▼**日帰り旅倶楽部** むかしまち歩き・笠間菊祭り 11月8日 10000円 八岩本・☎090・3431・4295
- ▼**蔵市南剣道クラブ無料体験** 土曜日 午後6時 南小学校 小学生 防具は同クラブで用意 八沼野井・☎42・1787
- ▼**江戸あるき** 駿河台からお玉が池・千葉道場玄武館跡へ 4日・9日・11日 11時から選択 いずれも午前9時 蔵駅改札口集合 7000円 八富山・☎090・2764・1342
- ▼**ダンスパーティー** 1日・8日・22日 午後1時 文化ホールくるる 499円 八犬塚・☎41・7373
- ▼**セピアのダンスパーティー** 15日 午後1時15分 文化ホールくるる 6000円 八菊池・☎080・5401・1753

環境に優しいまちへ ご利用ください 温暖化対策の補助制度

市では、太陽光発電システムなどを住まいに設置する際に、その費用の一部を補助しています。この「地球温暖化対策設備等設置費補助制度」の後期受付が今月1日から始まります。環境に優しいまちづくりに向けて、同制度をぜひご利用ください。



住宅にエコな自然エネルギーを

親と子の ニュースの 小窓

地球に優しい自然エネルギーを住宅に

フラビ なにあれ！うちの屋根に大きな板が付いているよ。

お母さん 太陽光から電気を作って利用する太陽光発電システムのことね。

職員 こんにちは。

フラビ あっ、市の職員さんだ！

職員 このシステムはね、地球に優しいクリーンなエネルギー源として注目されているんだよ。

フラビ そうなんだ。

お母さん 最近、設置する住宅が増えていきますね。
職員 そうですね。歳市でも、地球温暖化対策の

検討はお早めに

後期受付は今月から

フラビ お母さん、うちも設置したらどお。
お母さん そうね。対象者について教えていただけますか？

職員 はい。市内の戸建住宅にこれらの設備を設置、または、当該設備が設置された市内の新築戸建住宅を購入し、居住する人が対象となっています。

一環として、平成24年度から、自然エネルギーを利用した住宅設備を設置する際に、補助金を交付しているんですよ。

お母さん どのような設備が対象なのでしょう。

職員 太陽光発電システムのほか、ガスを燃料として発電を行い、排熱を給湯などに利用する設備（通称・エコウィル、エネファーム）など、6つの設備が対象です（下表参照）。

フラビ たくさんあるね。

職員 これまでに、平成24年度は51件、25年度は82件の申請がありました。

お母さん それならうちも対象ね。申請すれば補助が受けられるのかしら。

職員 予算に限りがあるため、限度額に達しただけ終了となります。なお、予算は前期・後期に分けて250万円ずつ計上し、後期受付は今月1日から生活環境係で行います。

フラビ はーい。でも、

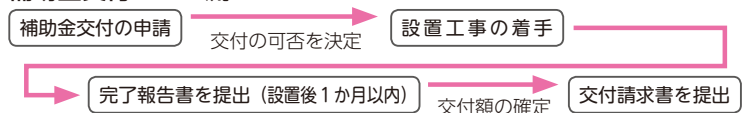
なんで設置すると地球温暖化の防止に役立つの？
職員 地球温暖化の要因とされる二酸化炭素（CO₂）の排出を抑えることができればからですよ。
フラビ どれくらい？
職員 例えば、太陽光発電システム（3.5kw）を設置した場合、年間約1200kgのCO₂削減効果が見込まれます。また、家庭で消費される電力の約

3割を占める給湯器を、高効率の物に切り替えることで、CO₂の排出量を抑えることができます。
フラビ へー、すごいや。
お母さん そうね。でも、環境を守るためには一人ひとりの意識が重要なもの。
職員 市でも、エコキヤップ運動や生ごみの堆肥化などさまざまな取り組みを行っています。こちらでも協力お願いします。

表 対象となる設備と補助額

設備	補助額
①太陽光発電システム	10万円
②太陽熱温水器（自然循環型）	5万円
③太陽熱温水器（強制循環型）	5万円
④ガスエンジン給湯器（通称 エコウィル）	5万円
⑤家庭用燃料電池装置（通称 エネファーム）	5万円
⑥雨水貯留施設	設置費の2分の1で5万円が上限

補助金交付までの流れ



対象＝次の要件を全て満たす人 ①市内の戸建住宅に上記の設備を新たに設置、または、当該設備が設置された新築戸建住宅を購入し居住する人 ②市税等の滞納がない人 ※その他条件あり
後期受付＝10月1日～来年2月6日（予算額に達しただけ終了）
申請・詳細＝所定の申請書に必要書類を添付の上、安全安心推進課生活環境係（北町5-13-23 ☎443・3706）へご持参ください

ほっと・エッセイ

自転車安全利用条例で交通安全の推進を

市長 頼高英雄

全国では悲惨な交通事故が後を絶たない中、本市では交通安全に向けて、関係団体の皆さんとともに、自転車レーンの整備や生活道路での車の速度を30kmに制限するゾーン30の指定、スタントマンによる交通安全教室などに取り組み、今年に入ってから、交通事故件数は減少傾向にあります。

しかし、依然として、交通事故の中で自転車の割合が高いことが課題となっております。自転車の事故の中には交通ルールを守っていれば防げた事例やヘルメットを着けていれば、けがを軽減できた事例も少なくありません。また、先月、京都で自転車による歩行者死亡事故が起きたという報道がありました。全国的には、自転車が増え、全国的には、自転車が加害者となり、多額の賠償が必要となる重大事故も発生しています。

そこで、本市では、県内二市目となる自転車安全利用条例を制定し、交通マナーの徹底や、子どもや高齢者の自転車ヘルメット着用、保険の加入促進など、自転車安全利用の一層の促進を目指すこととしました。大切な命を守るため、市民の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は2日です。11月は6日です。時間は午後1時～5時を予定しています。

ご希望のかたは秘書広報課(☎433・7701)へ



子どもクラブ 草花に触れて学ぶ和の心

いけばな親子教室

日本の伝統文化に親しんでもらおうと開かれている、いけばな親子教室(蕨市「彩の花」主催)。全16回の日程で、小・中学生の親子7組が生け花のいろはを学んでいます。9月20日、旭町公民館で開かれた教室では、ウリリュウヤナギ、リンドウ、コギクを使って自由創作に挑戦。「どうしたらきれいに見えるかな」「表はどっち?」と、草花との会話を楽しむように、一本ずつ丁寧に生けていきます。お母さんとも相談しながら、しだいに花器はそれぞれの個性でいっぱいになり、心豊かなひとときとなりました。

わが家のアイドル



こうすけ 昂佑ちゃん (3歳4か月)

かきぬま 柿沼 なおき 直樹さん
あゆみさんの
長男
南町4丁目

—510—

「好奇心旺盛で活発な昂佑が今夢中なのは体幹トレーニング。パートナ―である夫の隣で、見よう見まねで手や足を上下に動かしている光景はほほえましいです。また最近、7月に『わらってつまつり』で出会ったワラ

ビーもお気に入りです。市内の掲示物などで見かける度に大はしゃぎで、「年賀状をあげて友達になるんだ」と、目を輝かせています。これから友達をたくさんつくって、元気あふれる子に育つてね」と、母親のあゆみさん。

閉経

閉経は、1年間の無月経とホルモン値により定義され、その平均年齢は50歳。閉経前後5年間を更年期と称し、その間に現れる

かるた DE ヘルスケア



蕨市立病院 柴田 優子 医師

症状を更年期症状、日常生活に支障を来すほどの状態を更年期障害と呼びます。月経不順や外陰の違和感のみならず、脂質異常、血管系、骨量減少などがあることもあります。漢方療法やホルモン補充療法、生活習慣の改善でかなり軽減することが可能です。婦人科外来でご自身に合った治療法を相談してみたいかがでしょうか。柴田医師の健康増進外来は木曜日午後。詳細は市立病院ホームページでご確認を



豪快に払い腰を繰り出す斉藤さん

輝いています

ひと

さいとう みゆ 斉藤 美優 さん

日整全国少年柔道大会出場

心技体磨き目指すは世界

恵

まれた体格と柔らかな笑顔が印象的な斉藤美

優さん（10歳・錦町2丁目）。

ふだんは西小学校に通う彼女ですが、胴着に身を包みひとたび畳に上がると、眼光鋭い

柔道家の表情に。今月13日には、東京都で開かれる「第23回日整全国少年柔道大会」で都代表チームの先鋒を務めます。

斉藤さんは、強く育ってほしいとの両親の思いを受けて、小学校入学とともに戸田市内の道場入門。すぐに、自分の体格を生かして勝負に挑める柔道のとりこになりました。週2日、2時間半の稽古に加え、筋力トレーニングや自主練習を重ね、受け身をはじめとした基礎や技の切れ味を磨

いていった斉藤さん。めきめきと頭角を現し、2年生、3年生のときには県小学生学年別柔道大会の個人戦で、みごと連覇を飾ったのです。

その後、「もっと強くなりたい」という気持ちが抑えきれず、東京の名門・春日柔道クラブへ移籍。稽古もそれまでの倍以上の量をこなし、昨年には全国から強豪が集う大会で団体戦の先鋒を務めました。順調に勝ち進んだ4戦目、自分より小柄な相手の意表を突いた抑込技で敗戦。チームも勢いを失い、表彰台を逃しました。「最後の試合だった6年生に申し訳ない」と、涙が止まらなかったという斉藤さんは、その悔しさを胸に、柔道へいつその情熱を注ぎ、今では指導者からも「みんなを引っ張ってくれる」と、太鼓判を押されるほどの存在に。夏の都大会では決勝まで全一本勝ちを収める活躍で先鋒としてチームを準優勝、そして全国大会へとけん引しました。「まずは全国制覇。そして、6年後の東京五輪や世界大会で活躍する選手になりたいです」と、目標を掲げる斉藤さん。全国の晴れ舞台では、表彰台の頂で仲間たちとはじける笑顔を見せてくれるでしょう。

紹介します！ 皆さんの市民活動

キラリ!!
みんなの力

～ナニピカケ～

メッセージ



いづみ 公美子 部長
飯泉

笑顔とともに広げたい
フラダンス愛好家の輪

「ナニピカケ」は、平成22年に結成し、現在6人で活動するフラダンスのサークルです。市内の公民館などで指導に当たっているE.R.I先生を講師に、月3回（木曜日午後7時半）、明星幼稚園でレッスンを重ねています。また、福祉イベントへの参加など、ボランティア活動にも取り組んでいます。先月14日には、市内の高齢者施設を慰問して、触れ合いを深めてきました。

このコラムでは、わらびネットワークステーション（☎45・7256）の市民活動登録団体を紹介しています。

触れ合いという意味では、昨年3月の「ワラビ・ハワイアン・フラ・サークル」の設立もうれしい出来事でした。この団体は市内の7つのフラダンスサークルが一つになったもので、昨年、今年と、7月に発表会を行いました。わらびネットワークステーションの協力の下、「もっと多くの人たちと踊りたい」という私たちの念願がかないました。こうした合同発表会は、今後毎年一度、続けていく予定です。フラダンスは、年齢に関係なく、趣味として楽しめるのも魅力です。いっしょに踊ってみたい個人・団体は、同ステーションまでお問い合わせください。



レッスン中は、いつも笑顔があふれています